

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(8)-イ	商店街・中心市街地の活性化と商業の振興	施策	① 商店街・中心市街地の活性化と商業事業者の振興
			施策の小項目名	○商店街・中心市街地の環境整備
主な取組	商店街活性化の支援			
対応する主な課題	② 今後は、少子高齢化や消費者ニーズの多様化等に対応した生活支援サービスや農林水産業、観光リゾート産業など他産業との連携等による新たな需要創出を図ることが一層重要であり、その担い手となる地域リーダーや商店街後継者の育成及び組織強化に向けた取組が不可欠である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
市町村の中心市街地活性化基本計画策定を支援する。						
		中心市街地活性化基本計画の策定支援				
実施主体	県、市町村、商店街等					
担当部課【連絡先】	商工労働部中小企業支援課 【098-866-2343】					
		商店街等が行う事業への補助				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	—						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
	主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	
			—	—	—	—	—	—	OR2年度： 計画策定の可能性がある市町村の現状確認。 OR3年度： 計画策定の可能性がある市町村の現状確認。策定された計画に係る活動確認（沖縄市、那覇市）。

様式1(主な取組)

活動指標名	市町村中心市街地活性化基本計画策定支援				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	未着手	活動概要 計画策定の可能性がある市町村と連絡を取り、現状を確認した。 策定された計画のうち那覇市についてはR2年度計画見直しが予定されていたが、コロナウイルス感染症の影響で見送られることとなった。
活動指標名	—				R2年度					
実績値	—	—	—	—	—	—				
活動指標名	—				R2年度					
実績値	—	—	—	—	—	—				
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度 of 取組改善案						反映状況				
・引き続き、商店街等活性化支援事業により、市町村および商店街等と連携した商店街等の活性化に取り組む。						・令和2年度商店街活性化事業では1件採択し、支援。				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ 中心市街地活性化基本計画は市町村で策定するが、市町村によって必要性の認識にばらつきがあり、策定に至っていない。
- ・ 市町村が策定する同計画は国の認定が必要だが、策定のための調査や策定作業の事務負担が大きい。(国庫補助事業を必要としない場合は、国の認定は不要)
- ・ 市町村は同計画を実施するための人員確保・費用負担が課題となる。

○外部環境の変化

- ・ 消費者ニーズの多様化、郊外型の大規模集客施設の立地が進んだこと等により、空洞化が進んでおり、中心市街地も衰退している。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 策定の可能性がある市町村については引き続き、中心市街地活性化基本計画の策定見込み等の状況を調査する。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ 策定の可能性がある市町村については引き続き、中心市街地活性化基本計画の策定見込み等の状況を調査する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(8)-イ	商店街・中心市街地の活性化と商業の振興	施策	① 商店街・中心市街地の活性化と商業事業者の振興
			施策の小項目名	○商店街等の創意工夫による取組支援
主な取組	商店街活性化の支援			
対応する主な課題	② 今後は、少子高齢化や消費者ニーズの多様化等に対応した生活支援サービスや農林水産業、観光リゾート産業など他産業との連携等による新たな需要創出を図ることが一層重要であり、その担い手となる地域リーダーや商店街後継者の育成及び組織強化に向けた取組が不可欠である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
商店街等が行う組織強化、活性化プラン策定、活性化などの事業への補助						
実施主体	県、市町村、商店街等					
担当部課【連絡先】	商工労働部中小企業支援課 【098-866-2343】					
		商店街等が行う事業への補助				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名							R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	

様式1(主な取組)

活動指標名	商店街を中心とした地域連携体等の支援				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	3件	3件	1件	3件	1件	—	100.0%	2,731	順調	北谷町・(一社)デポアイランド通り会連携体は、地域全体で統一された景観を創出するまちづくり(ブランディング)に取り組み、観光客や地元客の呼び込みを行う。同時に、公共空間の整備・拡張により回遊性を向上させ、滞留時間を延ばし、更なる消費創出につなげる。 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 北谷町・(一社)デポアイランド通り会は令和2年度に取り組んだ賑わい広場空間整備を終えている。
活動指標名	—				R2年度					
実績値	—	—	—	—	—	—				
活動指標名	—				R2年度					
実績値	—	—	—	—	—	—				
活動指標名	—				R2年度					
実績値	—	—	—	—	—	—				
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度 of 取組改善案						反映状況				
・引き続き、商店街等活性化支援事業により、市町村および商店街等と連携した商店街等の活性化に取り組む。						・商店街等活性化支援事業にて、北谷町・(一社)デポアイランド通り会連携体の事業に補助を行い、商店街等の活性化が図られた。				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・ 商店街の活性化については基本的には市町村が管轄であり、市町村の計画に沿って行われる。
- ・ 商店街振興組合等が事業への補助を受ける際に、一部自己負担が生じるため、事業実施に踏み込めない状況がある。仮に、補助を受ける場合でも申請事務等を行う事務員がない場合がある。
- ・ 商店街振興組合等の実施する事業への補助は国も実施している。

○外部環境の変化

- ・ 消費者ニーズの多様化、郊外型の大規模集客施設の立地が進んだこと等により、空洞化が進んでおり、かつては地域コミュニティの中心であった商店街も衰退している。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 引き続き、商店街等活性化支援事業により、市町村及び商店街等と連携した商店街等の活性化に取り組む。

4 取組の改善案 (Action)

- ・ 引き続き、商店街等活性化支援事業により、市町村及び商店街等と連携した商店街等の活性化に取り組む。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(8)-イ	商店街・中心市街地の活性化と商業の振興	施策	① 商店街・中心市街地の活性化と商業事業者の振興
			施策の小項目名	○商店街等の人材育成や組織強化
主な取組	商店街振興組合指導事業費			
対応する主な課題	①大型店舗との差別化を図り、商店街・中心市街地を活性化させるには、地元自治体のイニシアティブのもと、商店街と地域住民等が密接に連携・協働した取組を促進するとともに、その活性化に不可欠な地元住民や観光客などの購買意欲を喚起する様々な取組を主体的・継続的に行っていく必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
商店街等の組織強化・活性化を図るため、沖縄県商店街振興組合連合会が行う商店街等振興組合の設立・運営等に関する指導、講習会・研修会等に要する経費に対して補助する。						
実施主体	県、商店街振興組合連合会	組合設立・運営指導、セミナー等の開催				
担当部課【連絡先】	商工労働部中小企業支援課 【098-866-2343】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名		商店街振興組合指導事業費							
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
							当初予算額	主な財源	
県単等	補助	1,409	1,215	1,269	1,401	1,200	1,200	県単等	OR2年度：商店街振興組合に対する巡回指導（76回）、講習会（4回）及び研修会（3回）の実施。また、県外研修会（1回）に派遣。 OR3年度：商店街振興組合に対する巡回指導、講習会及び研修会の実施。また、県外研修会に派遣。

様式1(主な取組)

活動指標名	組合設立・運営指導				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要		
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
	337	379	487	293	260	—	100.0%	1,200	順調	<p>商店街振興組合の運営等に関する指導を巡回指導を含め260回行ったほか、商店街の活性化やリーダー育成に繋がる講習会や研修会を5回開催。</p>		
活動指標名	—				R2年度							<p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p>
実績値	—	—	—	—	—	—					<p>商店街の活性化や感染症・災害等の危機管理に係る講習会の開催に加え、商店街・通り会が現在抱えている問題や商店街活動に係るセミナーを開催し、商店街活動に関する意識の共有が図られた。</p>	
活動指標名	—				R2年度							
実績値	—	—	—	—	—	—						
(2)これまでの改善案の反映状況												
令和2年度 of 取組改善案						反映状況						
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、商店街振興組合の人材育成や組織強化、活性化に係る取組を行う。 引き続き、商店街振興組合のニーズに応じたテーマを設定した講習会の開催や商店街振興組合に対する指導を通して、商店街への集客や魅力ある個店づくり、サービス向上等により商店街の活性化を図る。 引き続き、講習会の開催方法の改善（開催時間、場所、集客の方法）に努める。 						<ul style="list-style-type: none"> 今年度前期は新型コロナウイルス感染症の影響で、講習会等の開催ができなかったが、後期はオンラインでも開催するなど、状況や商店街のニーズに合わせた取り組みがなされた。 商店街の売上げに繋がるSNSを活用した情報発信方法、魅力ある売り場づくりの手法、インボイス制度に関するものなど、商店街振興組合のニーズに応えた講習会が開催された。 新型コロナウイルス感染症予防として、来場・オンラインにて開催し、安全安心で、かつ、より気軽に組合員が参加できるようになった。 						



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・商店街・中心市街地は、後継者不足やリーダーの育成が不十分でなかなか組織化できていない。
- ・組織化は、商店街や市町村も関心を示すが、リーダー不足等によりなかなか促進できていない。
- ・商店街は来街者の減少、中心市街地地域人口の減少、売上の低迷、空き店舗の増加、店主の高齢化など多くの課題を抱えている。

○外部環境の変化

- ・消費者ニーズの多様化、郊外型の大規模集客施設の立地が進んだこと等により、空洞化が進んでおり、かつては地域コミュニティの中心であった商店街も衰退している。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・引き続き、商店街振興組合への運営指導等を行い、リーダー育成等により既存組合の強化を図る。

4 取組の改善案 (Action)

- ・引き続き、商店街振興組合の人材育成や組織強化、活性化に係る取組を行う。
- ・引き続き、商店街振興組合のニーズに応じたテーマを設定した講習会の開催や商店街振興組合に対する指導を通して、商店街への集客や魅力ある個店づくり、サービス向上等により商店街の活性化を図る。
- ・引き続き、講習会の開催方法の改善（開催時間、場所、集客の方法）に努める。